

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

日本 大学 加藤恭子 ゼミ 加藤恭子ゼミ A パート

25

部門番号

部門名 労務管理論

テーマ 従業員満足を高めるリーダーシップとは？

サブテーマ 飲食店アルバイトを対象に

趣意文

班員のアルバイト先では時給は平均的であり、シフトの変更を頻繁に頼まれるなど、社員からの教育が厳しいにもかかわらず従業員の満足度が高いと感じ、従業員の満足度を高める要因は賃金だけではないのではないか、また何が要因なのか疑問に感じた。そこで、班員のバイト先が飲食店だったことや調べていく過程で、業界の中でも飲食業界に問題が多いと分かったため対象を飲食業界とし、研究することとした。上司のリーダーシップや職場でのコミュニケーションは毎日の出来事であり、これに日常的不満を抱く場合は従業員満足度調査に如実に反映される。また、「従業員満足度を大きく左右する要素は給与などの報酬ではなく、上司のリーダーシップ、コミュニケーションである。」という先行研究があったので、企業にコストをあまりかけさせずに従業員満足度を上げられるリーダーシップを模索することとする。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

文教 大学 坪井 ゼミ 坪井ゼミC パート

25

部門番号

部門名 労務管理論

テーマ 現代の社会に求められる労働環境

サブテーマ なぜ、ブラック企業が生まれるのか

趣意文

今日、「労働環境」というのは様々である。働き方で言えば、インターネットを活用することで、わざわざ職場に行かずとも働くことができるようになったり、オンラインで会議をしたり、取引をしたりすることでその場にいなくとも仕事ができるようになった。また、企業福祉では、今までは女性だけが取得することができるというイメージのあった育児休暇も、最近では男性にも取得させるようになってきている。このように、現代の社会で企業が求められていることは「社員」に快適な労働環境を提供し、その中でいかに労働させるのかということではないかと思う。しかし、日本の現状はどうであろうか。

「ブラック企業」や「残業」などの悪いイメージの言葉ばかりが飛び交い、実際に過労で自殺してしまったという件も少なくない。アベノミクスの第二次成長戦略にも労働改革が組み込まれており、重要な改革として取り組まれてはいるが、それが日本の現状を打破できるほどの効果があるのかは疑わしいところである。

私たち坪井ゼミでは「経営組織論」「経営管理論」を中心とした経営学を研究している。その中で、こうした「労働環境」についてはよく学んでいる部分であるし、これから就職する私たちにとってとても身近なテーマである。これから論文を書いていくにあたり、さらに研究を進めて、考えを深めていきたいと思う。